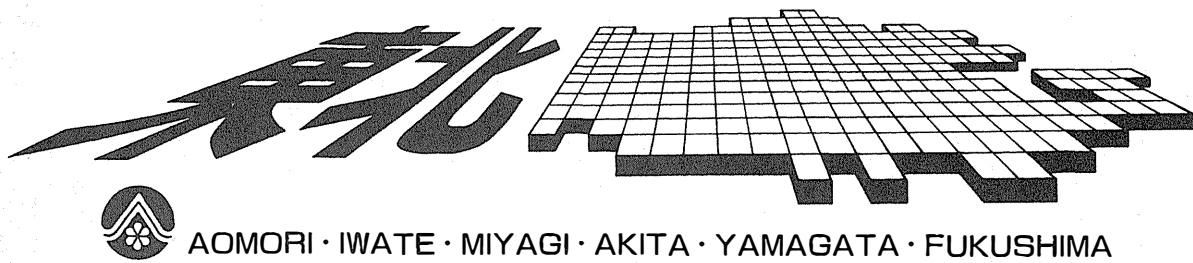


第11号

発行所
 東北地区屋外広告美術業組合連合会
 情報文化委員会
 事務局 仙台市宮城野区原町三丁目4番地10号
 TEL 022-257-0437



AOMORI · IWATE · MIYAGI · AKITA · YAMAGATA · FUKUSHIMA

テーマに関わって「インクジェットそれとも手描き?」

第22回 東北六県 公共キャンペーン作品展

建設大臣賞

「二〇〇〇年問題の『危険日』」

(青森 ㈱ニッタ美術工業)

デザイン処理が秀逸である。コンピュータの二〇〇〇年問題をキャッチフレーズと短文にまとめ、ディスプレイと歪んだ時計の重なり、さらに右側に歪んだ文字を並べて二〇〇〇年問題を視覚化している。細かな文字を書き込んで歪ませる表現は手書きでは無理であり、インクジェットを使いこなした作品といえる。テーマに対する作者の認識の深さを示している。

作品展好評

秋田大学教育文化学部
 教授 横山 智也

第22回東北6県公共キャンペーン作品展が秋田市のアゴラ広場を会場にして開催された。6年に一度巡ってくるこの作品展を審査するのが楽しみである。前回(第16回)の作品展でも感じたことであるが、いずれの作品もレベルが非常に高いからである。その他に感じたことをいくつか挙げて、それぞれの県によって公共キャンペーンとして選ぶテーマに偏りがあること、表現技術にある種の傾向が見られること、材料に対する取り組み方が異なることなどである。

テーマの選択は大きな催しもの(国体、WORLD GAMES、技能五輪など)があると、それに関する作品が多くなる。前回は「福島国体」をテーマにした作品が多く、今回は「二〇〇一年に秋田で開催されるWORLD GAMES」をテーマにした作品が多かった。一方、今年世界的な規模で問題となっているコンピュータが西暦二〇〇〇年を正しく読み取れないという「コンピュータの二〇〇〇年問題」が急浮上し、それを取り上げた作品が目についた。このテーマは今年限りの問題であり、もっと多くの作品が出品されるだろうと予想していたがその予想ははずれた。県ごとの審査を通らなかつたので、東北6県の作品展に出品されないだけなのかもしれないが、この問題に対する県民の意識に温度差があるような印象を受けた。

表現技術では、いま大勢を占めているインクジェットを重視するか、手描きを重視するかは取り上げるテーマに関わる問題であり、作者によってどの技術をとるかが異なってくる。建設大臣賞の「二〇〇〇年問題の『危険日』」はインクジェットを使っているが、この技術があつてはじめて表現できた優れた作品である。日広連賞の「How much Love?」は徹底した手描きによる作品であるが、個々の対象の描写力に優れた写真にはない力強さが感じられた。

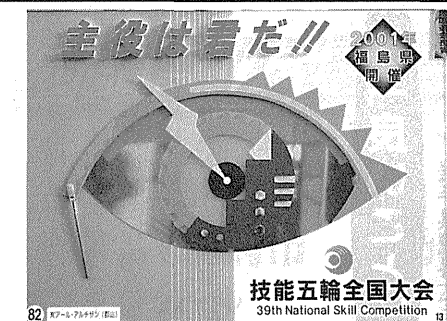
表現材料ではメッシュを使った「DRUG J」から新鮮な印象を受けた。メッシュ自体は新しい材料ではないが、応用の仕方に工夫が見られ、今後、どう展開していくか期待したい。

広告(公共キャンペーン)とは言葉とイラストや写真を組み合わせ、相互に補完しながらメッセージを伝えることである。そのためにはイラストや写真の表現力だけでなく、言葉の確かな使い方と文章表現も重要である。これがコミュニケーションの基本であることを念頭におき、今後もそれぞれの表現力をさらに高めるよう努力して欲しいと願っている。

地区連会長賞

「主役は君だ!!」

(福島 ㈱オールアルチザン)

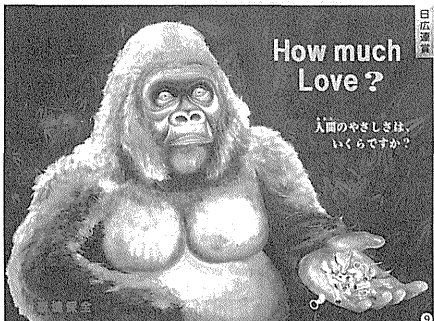


上記二点とはまた異なつた強い訴求効果をもつた作品である。技能五輪全国大会をテーマにして、そのテーマに関連する部品を取り入れて巧みに構成している。個々の形態に強い色を使っているが、細部にまでよく神経を配り、難しい配色を破綻なくまとめた優れた作品である。

日広連賞

「HOW MUCH LOVE?」

(秋田 ㈱アートピアササキ)



建設大臣賞の作品とは対照的に、徹底的に描き込んだ作品である。ゴリラの表情はもちろんであるが、ゴリラが手にしたタバコの吸いながらプルタブを緻密に描いた表現力に作者の確かな技術が感じられる。写真の表現力とは違った手描きのイラストならではの強いインパクトのある優れた作品である。

rustyru

東北地区屋外広告美術業組合連合会会長 須賀 政 雄

コンピューターの誤作動を心配した二〇〇〇年問題も大きなトラブルも無く二十世紀最後の二〇〇〇年を迎えることになりました。

政府の懸命の経済対策の効果は昨年末あたりのマスコミの報道では下げ止り、上向きに転じたと言っておりますが私達業界には全く実感がありません。むしろ益々悪くなって行く様な感じが致します。受注の停滞は受注競争をまねき、仕事をやっても経費も出ない赤字経営が現状ではなんでしょうか。組合員相互の信頼のもとに仕事の協業化・コスト削減を計り明るい二十一世紀を迎えたいと願っております。

平成十二年度の政府予算は赤字国債の発行で大型予算を組んでおりますが国際の利払いだけに七兆円とか、国民一人当たり何百万円の借金とか言われておりますが、将来この借金を誰が払うのか判りません、一月の新聞によるとある地方自治体の年間予算の三分の一は人件費に消えるので住民の為の予算が組めないという報告を願うものです。

グチをこぼすことよりも嬉しい報告をさせて頂きます。昨年七月十二日、高木義弘副会長さんが多年にわたり屋外広告事業の振興に尽力され公共の福祉の増進に多大の貢献をされたとして建設大臣賞を受賞されました、本当におめでとうございます。

平成十一年度第十八回技能グランプリは三月五日に実施されましたが第十七回に続き東北から上位入賞者が出ました。ペイントの部で労働大臣賞二位銀賞に山形広美の(有)大井看板大井哲氏が入賞、敢闘賞に岩手広美の日美画房小田島凌一氏、福島広美の(有)大盛看板橋本清信氏が入賞致しました。本当におめでとうございます。東北には技能の優秀な看板屋が多いと全国に宣伝して頂き、地区連として感謝致します。

平成十一年十月二十二日(金)から二十四日(日)に秋田市駅前アゴラ広場に於て開催した第二十二回東北六県公共パネル作品展に優秀な作品を多数出品頂き

盛大なパネル展となりましたことに感謝申しあげます。会場設営にあたられた秋田広美の役員・組合員の方々に厚くお礼申しあげます。

建設省が平成十年十一月から一年間に亘り屋外広告物基本問題検討委員会を八回開催し、日広連から御園副会長が業界代表として委員会に参加され昨年十一月四日最終合合があり、最終報告を取りまとめました。内容については日広連紙十二月号に掲載されておりますが私達業界としては前向きな提案と思っております。建設省に於ては更に全国の自治体との意見交換もあり屋外広告物法の改正案の国会提出は十二年度末になるようです。屋外広告士については、その水準を向上させることとし、引き続きこれを積極的に活用する方向で検討すると提案されております。建設省への検討委員の提案にもあります様に屋外広告士は屋外広告業者にとつては益々重要性が増すものと思われまます。屋外広告士の更新講習会は本年度は盛岡市で開催致します。日時は五月中旬を予定しております、更新期を迎える方は必ず受講され、資格の継続をお願い致します。組合員の皆様と共に情報の交換を密にして信頼と協力によって二十世紀最後の年を充実させ輝かしい二十一世紀を迎えたいと願っております。



コンピュータ利用あれこれ

青森県屋外広告美術業協同組合

理事長 千葉 裕

新年明けましておめでとうございます。西暦二〇〇〇年とゆう記念すべき年の年頭、地区連の皆様にはすこやかな年頭を迎えられたこととお慶び申し上げます。

昨年は、暗い話題が多く永びく不況の下で、各位の経営上のご苦労は大抵ではなかったと思えます。かかる状況の中では全国的に構成員の減少も著しく、当プロックもその例外ではありませんでした。

さて、Y2K、いわゆる二〇〇〇年問題があつたように大騒ぎになったのは、この所各段に進んだ各施設特に公共インフラのコンピュータ制御が問題でありますが、大方たいした混乱も無く経過したことにホッとしております。

何故このことを冒頭に取り上げたかと云うと、ここ

急激に進んだ電子情報社会、インターネット社会が我々の業界に対し無縁ではない事にあります。

数年前に日広連のデータベース、ニフティ・サーバが発足し、それについてインターネットのホームページが提供されました。そして、昨年来、日広連の本格的データベース構築の問題が浮上し、そのために特別委員会が検討しているようであります。

二十一世紀、いや今日、このようなデータベースの構築は、今後の業界の発展を考えると、必須のものであることは言うまでもないし、そのために必要な、労力やコストは仮にいくら高価であつても費やされなければならぬ。時代は目まぐるしく変遷し、高度情報化社会への取り組みにおいて我々業界が遅れを取ってはならないのです。

現に、インターネットでは商品の売買はもとより、建築などの受発注も一部で行われております。とすれば、我々の例えば看板についても、そのような形態をとる可能性は高いし、現に行われているとも聞いております。

しかし、それらの通信システムに携わっているのは、現在のところ極限られた少数の事業所でありまます。このことが、今、深く考慮すべき重要な事でありまます。

日広連五千数百の事業所の大多数が、その便宜にあずかるような基本的な計画が、まず、必要であります。とゆうのも、現在、コンピュータを利用していない事業所は殆ど無いと思ひますが、それが社内業務のスタンドアロンの利用に終始しているのが現状であり、所謂、通信ネットワーク(インターネット)に接続されている機器はきわめて少ないからであります。

コンピュータを介した通信は、近年急激に増えたと云え、まだまだ多くの人(特に中高年齢)にとつては異質の物であり、取り組みがたい。二十一世紀にむけての今年、業界が基本的に取り組みすべき事はその障壁を超える事でありまます。

小規模な人材不足な事業所にあつても、情報格差をなくし、各単組、あるいは支部など、まづ身近なネッ

ニップクロス.スペースカラー インクジェットメディア



株式会社 ニップ コーポレーション 仙台営業部

〒984-0042 仙台市若林区大和町3-4-20 TEL (022) 232-7411 FAX (022) 238-0271

青森営業所 (0177) 82-1331 秋田営業所 (018) 865-6731 盛岡営業所 (019) 623-1913

トワークづくりを推進して、コミュニケーションを図り、いろいろな情報をお互いに利用する態勢を造るべきであります。

それが、ある程度可能になった時点で、業界の高度な情報データベースが生きてくる訳で、組合各事業所のために本来に必要な物として迎えられると考えまます。そのために、通信ネットワーク構築のために未構築の事業所や、各単組がとりくむ事を期待します。

rustyru

岩手県屋外広告美術業組合連合会会長

理事長 高橋 徳一

組合に入会すると、何か「良いこと」がありますか、と質問されることがある。この答えは簡単なようで、むずかしい。

少し不親切であるが「良いこと」があるかないかは、あなたの心の持ち方ひとつです、と私は答える。入会して、会費を取られるだけで、總會とか行事に

全然顔を出さない人に「良いこと」があるわけはないのである。入会して「良いこと」とはまず顔を出すことであって、例えば、会費五百円払った見返りに、六百円の目に見える形である「物」を手にするのではないのである。

世間には会と名のつくものがたくさんあるが、これらの呼びかけに応じない人は「良いこと」を取ろうとしない人である。手を出さず、行動しないでは「良いこと」は飛び込んで来ない。

岩広美とは、縁あって、同じ職業を持ち、その職業を通じて友となり、技能をみがきながら、業を通じて世の中のために少しでもお役に立つことを念願しながら、業の社会的地位の向上と技能の発展を努力している人たちの集合体であると私は理解している。

この会は、経歴も肩書も、財も学も、無関係の、文字通り丸裸の看板屋なのである。いままでは街のなかで顔を合わせても、どこの誰かを知らなかった人に、いまでは笑顔で「お元気ですか」といえるようになり、急に世間が広くなり、明るく楽しくなったという人もいる。

この街に住んでいて、同業の人の顔も名前も知らぬという。戦後社会の暗くゆがんだ日常生活から少しでも抜け出して、人間関係が乾き過ぎてギスギスしている現代の世相に潤いをもたらすことも、この会の「良いこと」のひとつである。

私たちは「泣きながら」この世に生れてきた。私たちが死ぬときは、ただひとりて逝く。妻や子や、親友がいたとしても、一緒に死ぬわけではない。

人はささえあつて生きるものだが、最後は結局ひとりて死ぬのだ。どんなに愛と善意に包まれて看とられようとも、死とは自己の責任で向きあわなければならないのである。

国民は国につくすことはしても、国家や政府をあてにすべきではない。なにも期待していないときこそ、思いがけず他人から注がれる優しさや、思いやりが慈雨として感じられるのだ。

そこにおのずとわき上ってくる感情こそ、本当の感謝というものだろう。親切に慣れれば感謝の気持ちも自然と消えていく。だから慣れないことが大切だ。い

つもなにも期待しない最初の地点に立ちもどろつつ生きるしかない。

心を持ちよう、何でも「良いこと」になる話がある。

老人クラブの将棋会に毎回参加する皆さんに「成績はどうですか」と聞いたら「いつも負けです」といふ。残念ですわねといったら、その人いわく、「勝負ごとは負ける人がいないと成り立ちません。負けることは、勝つことと同じくらい価値があると思つて、感謝して帰りませ」といって、涼しい顔をしているのです。

この心境は、損得のある賭けごとは別として、人として生きるうえにとつて一番必要な「哲学」ではないだろうか。目に見える「良いこと」だけを追求する現代の風潮のなかで、頭の下がる、敬服すべき「良い話」である。

負けても、損しても、ボランテアで汗を流しても、組合の役員として、一人でも多くの会員のために世話を焼いて苦勞しても「良いこと」があつたと割り切つていきたいものである。

新年を迎えて

秋田県屋外広告美術協同組合
理事長 石 黒 征 幸

明けましておめでとございます。すこやかに新年を迎えのことと存じます。

国内経済は、依然として景気回復の実感には程遠いまま推移して、卯年から辰年へと変わりました。辰年の今年こそ「昇り竜のごとく景気回復を……」と願わずにはいられません。

今年の秋田は、明るい話題に彩られてスタートいたしました。台湾・台北市で、早期復興への願いをこめた「大曲市の花火」一打上げでは、三十万人台湾の人達に、大きな感動を与え大成功を収めました。

ラグビーやサッカーの全国大会では高校生達が活躍した。ベスト4をかけたラグビーの秋田工業高校は、強敵の國學院久我山と接戦を演じ、サッカーの秋田商業高校は、ベスト8進出を目指し、日大藤沢と対決、勝敗は不明戦までつれ込んだ。いずれも紙一重の差で敗れはしたが、堂々た

る好試合を展開した。また、東京箱根往復大学駅伝で、駒大アンカーをつとめ、区間新記録で快走して、初の総合優勝を果たした、協和町出身、秋田工業高出身の高橋正仁君、東京ハーフマラソンで日本最高をマークした、花輪高校出、富士通の高橋健一君、あのひたむきな姿勢が県民にすがすがしさを与え国内外に秋田の名が響いた好スタートである。

新しい息吹が動きはじめた二千年、私達はこの記念の年を飛躍の年としてとらえ、自らを厳しく律し、確かな技術に自信と誇りを持つて、自らの責任を全することに、地域における存在感と組織としての地位を高めていくことにつながるものと確信しております。

「時代の流れに敏感に投影するサインは何かに自分に関心かけながら、生き残りの道を探る一層の努力が必要ではないだろうか。」

二〇世紀最後の年となる今年、来たるべき二十一世紀に向けて、明るい未来を切り開く大事な年と位置付けて、気持ち新たに、諸課題を克服して、また次の一步を踏み出してまいりませう。

みなさまのなご一層のご指導とご支援をお願い申し上げます。

山形県屋外広告美術協同組合連合会
副理事長 藤 田 弘 二

二〇〇〇年辰年に想つ



キリスト生誕が西暦の始まりとして丁度今年が節目の二〇〇〇年という途方もない歳月を重ねてきた訳だ。

人類の歴史がいつ頃から始まったのか、という根源をさぐれば約五〇万年前の話だしそれに比べてキリスト生誕よりたかが二〇〇〇年という人もいるだろうし、ひるがえって日本国を辿れば皇紀二六〇〇余年の歴史というし、更に中国は四〇〇〇年の歴史を有するという。それだけでも悠久の重みを感じるのに遠く古代に夢をはせれば一万年前の縄文人、弥生人が日本列島に住みつき高度な稲作文化を形成し現代にも通じる生活様式を持っていたという遺跡が発見さ

SEKISUI

クイックデリバリーが私たちの自慢です

(営業品目)	
・屋内用フィルム・・・	ハルカラー
・屋外用フィルム・・・	タックペイント
・転着用シート・・・	アプリケーション
・内装用高級シート・・・	パロア
・マシン関係・・・	サインクリエイティブ

お問い合わせは、下記営業所までご連絡ください

株式会社 セキスイサインシステム東京・仙台営業所
〒980-6060 仙台市青葉区中央4-6-1
TEL(022)-282-1121 FAX(022)-223-6502

今年の九州は **バツ千!!!**

2000 IITA FUKUOKA KYUKOREN

東北地区連の皆さんも
こそって参加しませんか?

第42回 日広連全国大会

“ぎちゃくれ よかここ九州”

2000年6月1日(木)
別府市 杉乃井ホテル

●大会スケジュール

大会/平成12年6月1日(木)
受付開始 午後1時 開会 午後3時
会場/別府 杉乃井ホテル スギノイホール ひかり
大分県別府市観海寺1 TEL 0977-24-1141
懇親会/午後6時半～ スギノイホール ひかり
宿泊/別府 杉乃井ホテル HANA

れる度にただ驚くばかりである。更に驚くのは今までの定説では西日本を中心に開けた文明が実はそれより古い遺跡、秋田県池内遺跡、青森県三内丸山遺跡などの発見で東北地方が中心でしかも非常に高度な生活をしてきたということには東北人の私達にとってはとりわけロマンをかきたてられる想いである。

特に三内丸山遺跡は今から約五千年前と推定される縄文前期の生活様式を今に伝えているし一定規模の栽培農業が行われていたことが突き止められている。

それではその前の旧石器時代一万年から一五千年前の人類はどんな生活をしてどんな言葉で話していたのだろうか。今迄の考古学の定説が次から次へと新しい遺跡の発見により覆される事態が起きるのを見ると、まだまだ新しい発見によりあっと驚く歴史の事実が起こるのではないか。だいたい大ざっぱに云って旧石器時代一万年を起源とするならば二〇〇〇年を歴史の一分に当てはめれば今日まで二〇〇〇年を五回経験したことになるし区分的には五区分となりまことに区切りがいい。そして新たに六区分の段階に入り今後二千年間どんな歴史を刻むのだろうか。昨年の暮れから折しも全世界がいわゆる二〇〇〇年問題で大きく揺れ動いた。二〇〇〇年という途方もない単位を一分とすること自体ナンセンスとお叱りを受けるかも知れないが案外そういふ別け方も面白い見方とも思える。もともと今の時代この情報時代であり、昔一昔十年の時代が今は三年あるいは二年の時代になつていくから、これからの二〇〇〇年はとても想像もつかない区分でもある。いづれにしても二〇〇〇年単位で歴史を見つめ直すとし

い発見があり、途方もなく遠い我々の祖先の旧石器時代の人達がうんと身近に思えるから不思議である。歴史はくり返すという。この二〇〇〇年でもどれだけ人類が進歩したのだろうか、否一万年前の人達とどれだけ違いがあるのだろうか、確かに今、我々の生活は便利になり物の豊かさに恵まれてはいるものの仕事に追われ、スケジュールに追われほんとうの豊かさを忘れてしまっている。意外と人類は根源的なところで進歩していないのではないか。一万年前の人達と現代の人達が会話をしたら教えられることが多いのではないかというのが私の実感である。一万年

前にタイムスプットして彼等にパソコン、携帯電話を渡したら意外や意外最初は上から下から横から眺めていたがやおらキーをたたき画面にぐいぐい入る顔は真剣そのもの、そのうちやっつたと雄たけびをあげる姿を想像してみた。これ結構テレビのCMにいけるじゃあないかと思ったりして。

そんなことを元旦早々想いをめぐらしてみたら、静かな日本の歴史ブームなのだそう。我々の一生なんて人類の歴史から見れば一瞬のまばたきの様なものだ。しかし古代に夢をはせ二〇〇〇年単位で歴史を見つめ直すのも、この二〇〇〇年辰年に当り面白いのではないかとふと思つてみた。

商売のこと、組合のことを離れて思いつくまま二〇〇〇年にこだわり私なりに歴史への想いを寄稿させて頂きました。

東北地区連のご発展を祈念致します。

新年の御挨拶

宮城県屋外広告美術協同組合
理事長 高木 義弘

不況対策が功を遂げてか、景気が良くなると言うような噂が風に乗って聞こえてくる。希望的観測かもしれないが、仕事が増えた、とお互いに、笑顔で挨拶がかわせる日が、一日でも早くきてほしい。

不況の最長記録を更新しながら、日本の経済は、どこを目指すのか、今、羅針盤を失った巨船が行き着く港を探して、さまよっている。

常に経済は、自己の努力以上に成長し、豊かな生活が、約束されたように錯覚していた気がする。いま、受注量が減少し、改めて、真の競争の時代であることを肌で感じさせられた。

行政機関の財政難はここの当分、続くようであり、公共投資の減少は、我々にとってドル箱である、箱ものが少なくなることである。

最近、日広連紙を見てみると、会員数が急激に減少している。これは、他の業種でも言えることで、特に、大店法の影響で、克つての商店街は視る陰もなく、シャッター通りである。今、個々の企業による努力が大切であるが、

組織を活用するのもより以上に大切ではないか。急速に変化する社会情勢の早期把握、即時転換できる体制、また、業態への対応、等々、常に心掛けが重要である。

建設省が自由化に向けた体質強化策として、企業合併、等も含めた改編に取り組んでいる、我々も、売り上げが減少することを予測しながら、社会情勢に即応できる体制と、長期的な経営計画の立案が大切である。

この時期を捉え、会員同士に連携と、信頼関係の醸成が大切であると、確信しております。今年、ミレニアム、この意義ある二〇〇〇年を、期待と希望に夢が膨らむ、素晴らしい年であることを願い、御挨拶いたします。

技能グランプリのことなど



福島県屋外広告美術協同組合
理事長 根岸 義雄

昨年末のいわゆる二〇〇〇年問題では、一部コンピュータの誤作動があったものの大事にならず良かったと思います。二〇〇〇年は二十世紀と二十一世紀の間の年でもあります。

二十一世紀を迎える前に少し技能の事を考えてみましょう。

今は筆を持つて書く事が少なくなり、昔修業した方々はさびしい思いをしている事でしょう。

我が福広美では毎年屋外広告美術展を各支部持ち廻りで開催しております。昨年は会津若松市制百周年記念にあたりますので、会津鶴ヶ城入口で開催致しました。会員百二十四社から八十四点が出展されました、その内ペイント仕上げ(一部文字のみシート仕上げ)が五、六点ではないでしょうか。ペイント仕上げが大変少ない様です。これも時代だから仕方がないかもしれません。

毎年三月に千葉幕張で行われます、技能グランプリ大会に、本年もペイントの部一名、粘着シートの部一名計二名出場致します。今迄グランプリの方は皆様の御協力で十数年連続出場しておりますが、今後連続出場となると特にペイントの部が問題です。

スコッチカル印フィルム

株式会社 **丸和商会**

秋田営業所

〒010-0000 秋田市泉字道田120-2
TEL 018 (866) 3261
FAX 018 (866) 3308



組立式看板
アルミフレーム
〈クイックシャーシ〉

株式会社 浅間製作所

資料請求
FAX 0120-338-870 (フリーダイヤル)

ホームページアドレス <http://www.shirakami.or.jp/~asama.co/>
E-mail asamadp@shirakami.or.jp

県の技能功労者(いわゆる県の名工)もお陰様で毎年一人誕生しております。いずれも十年先を考えますと、果しているかどうか、名工が誕生するかどうかは技能者が少なくなつて行く事が問題です。

平成十三年(来年)には技能五輪ふくしま大会が郡山市に於て開催されます。昨年は静岡で開催し、広告美術の部出場者は静岡七名、福島一名計八名でした。当初福島県から出場一名が急に出場出来なくなり、福島県から一名出場となつたものですから、静広美さんから大変感謝されまして十三年の福島さんの時は必ず一名は出ずからと約束して下さいました。それにしても福島支部(有)タカ工藝社(社長高橋敏夫氏)より大山潤一君が御理解により急遽出場が決定し、特訓一ヶ月ちよつとで取調賞までもらう事が出来ました。御指導下さった高橋社長始め、(有)サインコア佐藤義信技能開発委員長、郡山から福島迄行つて指導した(有)アーム工芸野地社長、それにタカ工藝社の工場長さん始め同僚の方々に厚く御礼申し上げます。広告美術部門は七名以下ですとその職種は、廃止されます。次に参加したい職種が虎視眈眈とねらっているそうです。一度出場出来なくなつた職種が復活する事は難しいと思います。

本年は埼玉県、十三年は福島県、十四年は熊本県、十五年は岩手県にて開催されます。資格は二十一才迄(国際大会のない年は二十三才迄です)

せめて十三年と十五年には東北各県から一名位は出場させて下さい。「若い時の苦労は買ってでもせよ」と云う言葉がありますが、東北各県の会員の皆さん、息子さん、娘さん、従業員の方々、若い内に一度挑戦して見ませんか、必ずや一生の思い出になるはずですよ。昨年出場した大山潤一君も福広美機関紙の中で「この大会に参加して初めは不安だらけでしたが、終わった時はうまく書けなかつた部分もあつたけど自分なりにやり遂げたので大会に参加でき本当に良かった」と語っております。

皆さんの参加を待っています。本年も良い年でありませう様祈念すると共に、よろしく御協力の程お願い致します。



20 東北のつわものたち



「道を究める」
(福島) 渡辺 秀伯さん

裂帯の気合いが師範の口を衝いて響く。模範演技の中で繰り出される突き、蹴りは力をセーブしていてもプロテクターごと受け手をふき飛ばす。他者から加えられる力というものを生身の体で体験してこそ、本当の訓練であるとの信念があるからだろう。素早く繰り出される重く鋭い突き、蹴りを見ているうち不思議な感覚におそわれた。まるで自分が打突を受けたかのように、口の中が血生臭くなり、頭は脳震盪を起したような気分になった。少しでも修行をしたものと、そうでない者の差はあまりにも大きい。もし蹴りが入れば私はひとたまりもなく悶絶するだろう。空手家が実際に力をふるうのは生死に関する時ぐらいたも聞く。ここでお断わりしておく。この一文はある方に触発されて、私のまつたくの思い込みで描いている。多少の間違ひは、お許し願いたい。その方の名は渡辺秀伯さんである。郡山市で(有)アサヒ工芸を経営されている。最近三十九歳になられたばかりと聞いた。始めて六年になる。週一回の練習では劇的な上達は望めないが仕事を考えると致し方ない。もともと健康維持のために始めたのであつて指導者の方々は人間形成に重点をおいているようだ。以上は朴訥でもともと口数の少ない渡辺さんが淡々と語られた話の一端である。祈りを込めて結跏趺坐をし、もくもくと突き、蹴り、形の練習に打ち込み、小さい人たちの指導をする彼に私は求道者の姿を見た。中国

から伝わったとき、沖縄でその技は単に「手」と呼ばれた。敵からの攻撃を受けたとき瞬時に防衛の姿勢を取る。その防衛の姿勢はそのとき既に攻撃のための態勢となつていく。その玄妙さが命名の由来であろうと思う。いつしか「手」は「唐手」になり、日本で広がりを見せ始めたとき禅の言葉でもある「空手」と呼ばれるようになり、人間の道を究めることがより一層強調されるようになった。人間の迫力は結局いかなる圧迫にも挫けぬという自信だと思ふ。渡辺さんはその自信を肉体の鍛錬によつて得ようとしておられるようだ。渡辺さんが指導員をする無限塾の白石昇央塾長(故人)、天才芦原英幸(故人)、天才芦原英幸館長(故人)、二宮城光円心館長の流れを汲み、玄妙な「SABAKI」の技で並み居る強豪を床に這わせ、権威ある全米空手道選手権大会を制した男である。



福広美会津支部 磯川 広昭

21 東北のつわものたち

「拘りのネオン管作り」
(秋田) 矢沢ネオン 代表 矢沢 茂さん

矢沢茂氏は長野県で生まれ、東京のネオン会社に入社し、以来四十三年間ネオン一筋のバリの研究熱心な職人である。現在はコンピュータが普及し、看板業界もカッティングマシン等があれば、ある程度は商売ができる時代ではあるが、ネオンは機械ではできません。全部の工程が手作業と熟練の慣で作るからです。又、どの業界も職人不足が深刻な状態ですが、ネオン業界も例に違わず職人及び後継者不足が問題になっております。が、矢沢さんは、その点不安がありません。

サインデザインのためのカラーシステム

NOCS 2500
(ノックス・ニー・ゴー・マル)

株式会社
中川ケミカル

仙台営業所：〒981-0912 仙台市青葉区堤町3-5-23
TEL 022-271-9003 FAX 022-273-2181
本社：〒103-0004 東京都中央区東日本橋3-7-13
TEL 03-3668-8141 FAX 03-3668-5705

タキロン(株)	塩化ビニール板(タキロン)
住友化学(株)	アクリル板(スミベックス)
日本油絵具(株)	塩化ビニールシート (サインシート、ニチエカル)
渡部泰(株)	各種機械工具
(株)梅電工	ネオン材料
	その他塗料全般

代理店
中村塗料販売(株)
秋田営業所

秋田市寺内蛭根85-25 TEL (863) 2005(代)
FAX (865) 7548

ご子息二人が手伝っており、ネオン管の製作、又現場作業と励み、既に立派な職人として数々の製品を県内外に出荷しています。

ネオン管作りは、管を設置する場所・気候・トランスの種類などでガス圧力・ガラス管の焼具合を微妙に代えて製作する熟練の職人技である。条件がともあれ自分で製作したネオン管が、明るく、そして長持ちして故障がないのが目標ですが、実はそれが一番難しい事なんですと苦笑いする矢沢さんでした。

ところで、矢沢さんはまず身体が丈夫である。暗い工場の中で一日中特殊なガスバーバーでネオン管を曲げたり、溶接したり、口ではゴムホースでふきながら作業をしています。夏は大変。うだる様な工場の中で火を使って汗と格闘し、仕事が終わってからのビールは格別との事。一人でやっていたころは仕事に追われて徹夜は度々だったが、現在はご子息たちが手伝っているのでも以前程はなくなったそうです。

お酒のほうも横綱級で飲み始めたら川反の四〇五軒は当たり前、朝まで飲んで帰りすぐ仕事にとりかかった様な武勇伝も今は昔、最近ご自分の体の事を考えて無理をしない様にしているそうです。

矢沢さんはネオン協会に入っており他県の業者とお酒を交えて交流を深め、ネオンの難しさなど研究しているとの事です。

休日は、好きな海で竿を降ろしてのんびりと魚釣りをしたりと健康に気をつけて、いつまでも秋田のネオン業界の第一人者として矢沢流ネオンを製作し続けてもらいたいと思っております。



「高松工芸」
(岩手) 一条 八平太さん

22 東北のつわものたち



高松の池ではシベリアからの長旅で疲れた羽根を休ませる白鳥たちが盛岡の冬を和ませてく

れています。シャンと伸びた首と、美しい羽根を広げた白鳥の姿は私たちの疲れた心身を癒してくれるかのようです。

一篠八平太氏の温和な、お人柄もまた安堵感が伝わるのは穏やかな高松の池を目前に、代表をされている高松工芸を拠点としているせいでしょうか、落ち着きの中にも筋の通った力強さは相通するものを感じます。

屋外広告美術の分野で活躍されている一篠氏は昭和五〇年から岩広美技能開発検定委員を長年にわたり務められて、平成一〇年度の、職業能力開発関係労働大臣表彰を岩手県からは個人として唯一人の授与者として受けられました。昨今コンピュータ操作などによるカッティングマシンが普及している中、広告美術仕上げの一般検定は、課題を忠実に表現する正確さに加え、レイアウト感覚と色彩感覚が不可欠で、基本の手書きを重んじ、技術に磨きをかけることを信念として活躍される一篠氏は、二十一世紀にせひ、もつていかなければ成らないつわものだと信じています。ますますご活躍を願ってやみません。

岩広美情報文化委員
白澤 健次



「オニヤンマ」
(宮城) ヨシダスタジオ
代表 吉田 徳男さん

23 東北のつわものたち



宮城からこんな方を紹介します。

広告美術ヨシダスタジオ(有)代表、吉田徳男氏です。吉田さんは組合員になられてまだ年数も浅いのですが宮広美塩釜支部では将来を大いに期待される人物です。人それぞれに興味な方が多くおられますが彼の趣味は昆虫採集です。それも「トンボ」で、狙いは「オニヤンマ」が中心だそうです。もともと三人の子供さん達と夏休みの宿題にと始めた昆虫採集、子供達とはとくにやめてしまひ今まではご本人一人がトンボ採に凝っているとのこと。身長百八十、体重百三十キロ余、顎ヒゲをはやした大男が網を片

手にトンボを追い掛けている姿を想像しただけで笑いがこみあげてきます。趣味とは言えトンボ採の話の聞くと大変な努力と忍耐が必要とのこと、ある日のこと、網を手にして沼の縁を歩いていてフト水面を見ると沼の中から十センチ程突き出た竹に一匹のオニヤンマ。これは採らねばと静かに沼の中へ、しかしトンボは逃げる、又くるだろうと首まで水につかりジーンと待つこと一時間余り、たまたま沼を見に来た人に異様な目で見られ、とても恥ずかしかつたと話します。で、トンボは採ったのと聞くと勿論採ったよと得意顔、忍耐ここにありとのこと、又ある時、とある集落で「腹パイ」になりトンボを待ち伏せしてた時、そばに立看板があるのに気が付き、文面に目をやると、そこにこう書いてあったので逃げる様にしてそこを立ち去ったと顔を赤らめて話していました。看板には、「近頃この辺に不信者が出没するのでご注意下さい。〇〇警察署」トンボ採集には前日雨が降り翌日快晴の日が良いそうです。「七月〇九月」仕事

が休みの日曜日に集中したいと思っているが、仕事を休んでの趣味、なかなか思う様に休めないらしい、だから地方への野建看板工事に行く時などは嬉しくて嬉しくてと言います。採った数々のオニヤンマトンボを標本にし幼稚園等におあげして喜ばれているそうです。今までに採ったオニヤンマが八百匹にも達しているとかで、おどろかされます。しかし最近はそのとう田舎へいっても田舎が整備され川の形や流れが変わり、細い水路までコンクリートになってトンボの幼虫ヤゴが住めなくなつたと眉をひそめていました。たかがトンボ採りと思えばその通りかもしれないが本人にしてみれば仕事の合間にするこの趣味こそが仕事への糧、だからこそキツク辛い仕事もなんなくこなしているのかもしれない。次男さんが後継予定とか言っておられました、こんな不景気な昨今、仕事に興味にと夢多き吉田さん、将来に大いに期待したいです。無趣味で仕事オンリーの方々にはご理解いただけないかもしれないが我が宮広美にこんなユニークな(変った?)方がおられる事を紹介しました。

宮広美情報文化委員会
三村 芳二郎

看板資材 卸販売
プラスチック各種

上記の事ならなんでも気軽に御相談下さい。

東北藤光 株式会社

仙台市宮城野区福田町南一丁目2-46
TEL (022) 254-0611
FAX (022) 254-0608

編集後記

◎秋田も日本海側に位置するこのあたりは、例年積雪は一メートルくらいで、近くでスキーも楽しめられる。除雪作業も冬の健康な運動位で可愛いものであったのだが、今年のは下力雪、豪雪地帯の皆さんは驚かないでしょうか、一日で八〇センチでパニック状態でした。

◎いよいよ三月だ、三寒四温、空が荒れ冷たい雨が残雪に降り注ぐけど、確かな春のきざしが動物であります。―秋田発―

情報文化委員会

- 委員長(秋田) 照井 勉
- 委員(青森) 国文 薫
- 委員(岩手) 白澤 健次
- 委員(宮城) 三村芳二郎
- 委員(山形) 刈田 幹雄
- 委員(福島) 長谷川登喜雄

